



2026年2月13日

各位

会社名 abc株式会社  
代表者名 代表取締役社長 松田 元  
(コード: 8783、スタンダード市場)  
問合せ先 経営企画部 部長 谷井 篤史  
<https://www.gfa.co.jp/form/corp/>

## Space Exploration Technologies Corp. (スペース X) への投資に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、アメリカの宇宙開発ベンチャーの Space Exploration Technologies Corp. (以下、「スペース X」といいます。) への投資を行うことを決議しましたので、以下のとおり、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 投資の背景および目的

当社は、2025年10月30日付「[Soul Ventures Holdings Limited との資本業務提携の締結及び第16回新株予約権の一部譲渡の承認に関するお知らせ](#)」で開示のとおり、Soul Ventures Holdings Limited (以下「Soul Ventures 社」) と業務提携を締結しており、同社の有するグローバルネットワークおよび先端技術分野に関する知見を活用し、暗号資産、宇宙、AI (人工知能) 等のハイテク分野を中心とした投資機会の創出を進めております。

本件は、当該業務提携に基づく具体的な案件化の一環として実行するものであり、Soul Ventures 社のネットワークを通じて得られた投資機会を活用し、世界的に高い技術力と成長性を有するスペース X への投資を決定いたしました。

スペース X については、起業家として国際的に知られる イーロン・マスク (Elon Musk) 氏が創業し、経営に関与する企業であり、再使用型ロケットの実用化等を通じて、宇宙輸送分野における技術革新を牽引してきた企業であると当社は認識しております。

スペース X は、商業宇宙輸送、衛星打上げ、衛星通信等の分野において事業を展開しており、世界的な宇宙産業の拡大を背景に事業規模を拡大しております。

近年の報道等によれば、宇宙関連産業の世界市場は中長期的に大きな成長が見込まれており、スペース X は当該分野における中核的なプレイヤーの一社と位置付けられています。

また、同社は未上場企業でありながら、直近の報道等に基づく企業評価額が約 1,800 億米ドルから 2,000 億米ドル規模とされる、いわゆる「ヘクトコーン (企業評価額 1,000 億米ドル超のスタートアップ)」企業の 1 社として認識されております。

さらに、これまでの累計資金調達額は 100 億米ドルを超える規模に達していると報じられており、資本市場からも同社の技術力および成長性が高く評価されているものと当社は考えており、本投資は、未上場段階における成長の恩恵を中長期的に享受できる可能性があるものと判断しております。

#### 2. 投資の内容

本件は、Soul Ventures 社のアレンジによる投資案件であり、今回スペース X の株式を直接取得するものではなく、投資事業有限責任組合 (LP: リミテッド・パートナー) を通じて、同社の優先株式へ間接的に投資するスキームとなっております。投資事業有限責任組合 (LP) を通じて、既存株主が保有

する優先株式を取得する形で当社はLP出資しますが、出資にかかる投資資金に関しては自己資金あるいは外部からの資金調達等から充当する予定です。

本日、取締役会においてスペース X への投資に関して確約することを表明決定し、正式に投資契約の締結を行う予定です。

#### <当社によるスペース X への投資概要>

(1)	投資形態	投資事業有限責任組合(LP)を通じた優先株式の取得
(2)	投資対象	Space Exploration Technologies Corp. (スペース X) <a href="https://www.spacex.com/">https://www.spacex.com/</a>
(3)	投資金額	1.5 億円相当額 (米ドル建て)
(4)	投資確約日	2026 年 2 月 13 日
(5)	契約締結日	2026 年 2 月末 (予定)
(6)	払込実行日	2026 年 3 月初旬 (予定)

### 3. 今後の展開について

本件は、2026 年 2 月 10 日付「[経営戦略アップデートおよび「ツインエッジ・トレジャリー」構想の強化](#)」で開示しました、当社独自のハイブリッドな資本配分モデルである「ツインエッジ・トレジャリー」構想を具体的に実行する取り組みの一環です。

同構想は、安定性を重視した資本運用と、高成長領域への戦略的なエクスポージャーを組み合わせることで、中長期的な企業価値の最大化を目指すものであり、本件は其中でも、AI および宇宙分野における超巨大な成長トレンドを取り込み、指数関数的なリターンの獲得を目指す「ヘクトコーン・トレジャリー戦略」に位置付けられます。

当社は、Soul Ventures 社との業務提携を通じて、スペース X のような、AI 時代における基盤技術(OS) となり得るヘクトコーン級の未上場テクノロジー企業に対し、株式等を通じた戦略的な投資エクスポージャーを段階的に構築していく方針です。

これにより、単なる財務リターンの獲得にとどまらず、将来的な事業機会の創出や技術トレンドの早期把握等を含む、戦略的価値の最大化を図ってまいります。

本件は、こうした取り組みの具体例の一つであり、当社は今後も、宇宙関連(スペース分野) および AI (人工知能) 分野を中心とした有望企業への共同出資や戦略的投資の検討を継続し、当社の中長期的な成長戦略に資する投資機会の創出に注力してまいります。

### 4. 今後の業績に与える影響

本件が、当社の 2026 年 8 月期の連結業績に与える影響については現在精査中であり、正式な契約締結などが決定次第、速やかに経過開示にてお知らせいたします。

また今後、開示すべき事項が生じた場合には速やかに公表いたします。

以 上